



令和 5 年 7 月 10 日

国土交通省 中部地方整備局

静岡国道事務所

「国道 1 号清水立体尾羽第2高架橋事故調査委員会(第1回)」の 開催について(変更)

1. 概要

7月6日(木)午前3時に発生した工事中の橋桁が橋脚から現道歩道へ落橋する事故について、静岡国道事務所は当事故を受け、事故原因の究明、再発防止について、調査、確認、検討することを目的として、学識委員等から構成する「国道 1 号清水立体尾羽第2高架橋事故調査委員会」を設置しました。

事故調査委員会(第1回)の開催が以下のとおり決定しましたのでお知らせします。

なお、委員会は非公開としますが、委員会冒頭に頭撮りを設けます。また、現地調査後および委員会の開催後、委員長によるブリーフィングを予定しています。

◇開催日： 令和5年7月11日(火) ①現地調査 13:30～

②委員会 15:30～(目途)

◇会場： ①現地調査 (静岡市清水区尾羽)

※安全確保の観点から、現地に立ち入ることが出来るのは委員等関係者のみとさせていただきます。

※現地周辺は一般住民の方々も利用していますので、人数等にご配慮ください(また、現地に駐車場はありません)。

②静岡国道事務所 (静岡市葵区南安倍2-8-1)

2. 参考資料

【別紙1】国道 1 号清水立体尾羽第2高架橋事故調査委員会 構成員名簿

【別紙2】取材登録書

【別紙3】工事概要等

3. 配布先

静岡県政記者クラブ、静岡市記者クラブ

4. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所 副所長

工事品質管理官

しずかわ
静川
ひらいわ
平岩

じゅん
淳
なおき
直樹

電話(054)250-8903 E-mail cbr-s-keikaku@mlit.go.jp

静岡国道事務所ホームページ <https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/>

静岡国道事務所公式ツイッター @mlit_shizukoku

国道 1 号清水立体尾羽第 2 高架橋事故調査委員会

構成員名簿

委員長

舘石 和雄 名古屋大学 大学院工学研究科 教授

委 員

廣畑 幹人 大阪大学 社会基盤工学講座 構造工学領域 准教授

白戸 真大 国土技術政策総合研究所 橋梁研究室 室長

取材登録書

国道 1 号清水立体尾羽第 2 高架橋事故調査委員会（第 1 回）

日時：令和 5 年 7 月 1 1 日（火）

場所：①現地調査：静岡市清水区尾羽

②委員会：静岡国道事務所 2 階 会議室（静岡市葵区南安倍 2-8-1）

取材を希望される場合は、事前に本取材登録書を送付願います。

※当日の集合場所等についてはお申し込み頂いた機関に個別に連絡します

1. 取材者

報道機関名			
氏名			
連絡先			
取材希望 (右記を○囲み)	現地調査 のみ	委員会 のみ	現地調査・委員会 の両方

2. 送信先

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所 計画課

Mail：cbr-s-chousa@mlit.go.jp

3. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所

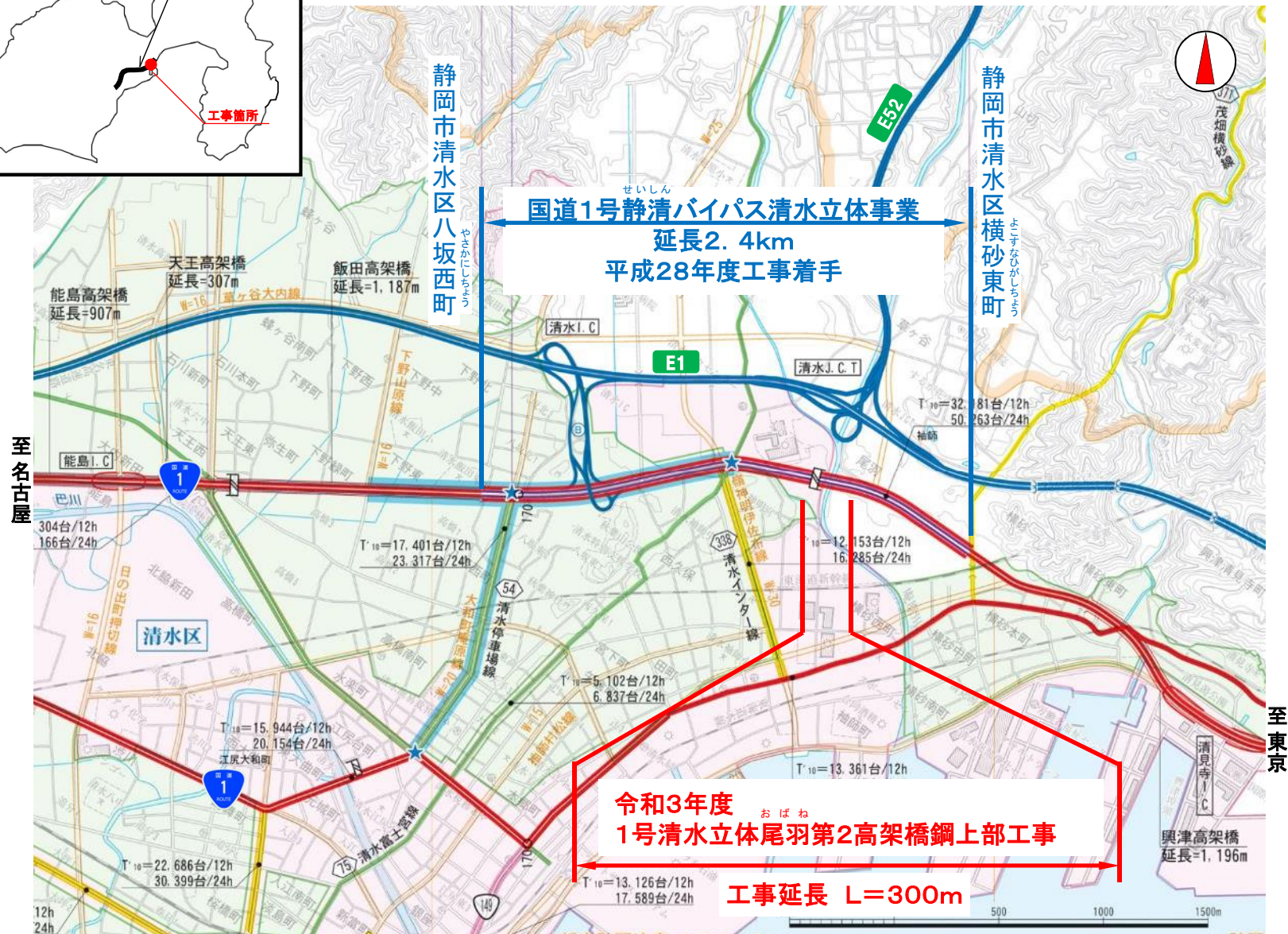
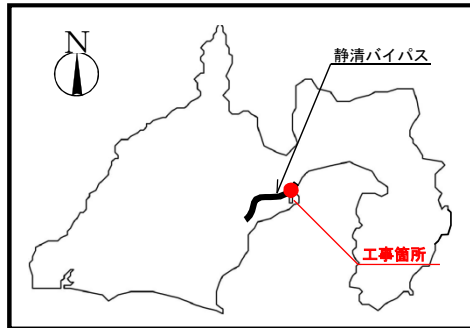
副所長 しずかわ 静川 じゅん 淳
工事品質管理官 ひらいわ 平岩 なおき 直樹

TEL：054-250-8903

事業概要(国道1号静岡バイパス清水立体事業)

別紙3

位置図

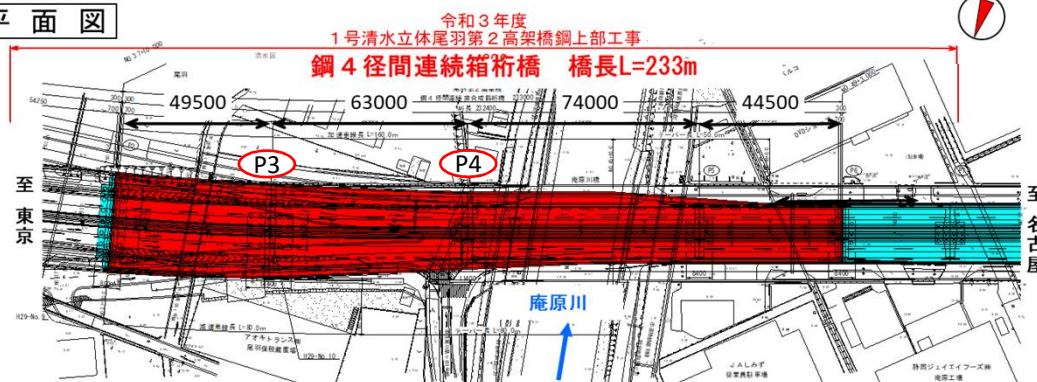


工事概要(清水立体尾羽第2高架橋鋼上部工事)

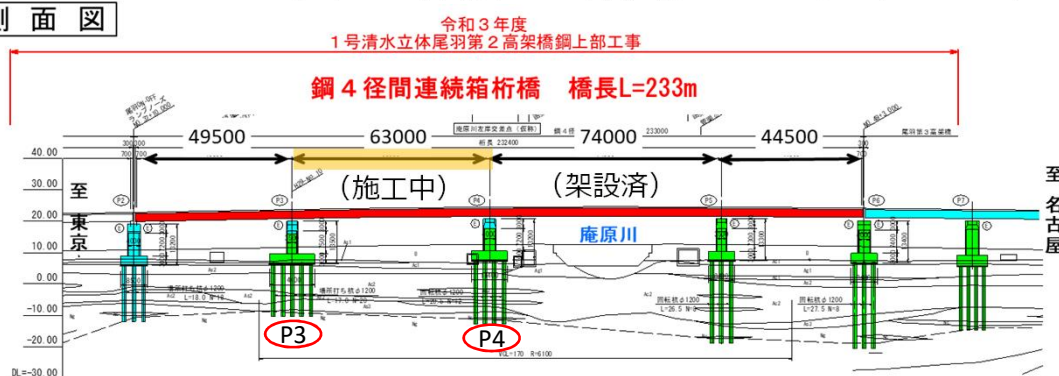
別紙3

工 事 名	令和3年度 1号清水立体尾羽第2高架橋鋼上部工事
工 期	令和3年9月10日～令和6年2月22日(895日間)
契 約 額	¥2,483,250,000 (税込み)
請 負 業 者	名村・日塔特定建設共同企業体 (株)名村造船所、日本鉄塔工業(株)
工 事 内 容	国道1号静岡バイパスの上部工(全長約230m)を構築するもの

平面図

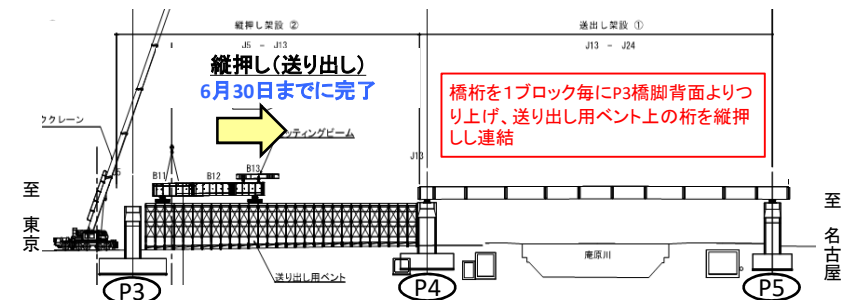


側面図

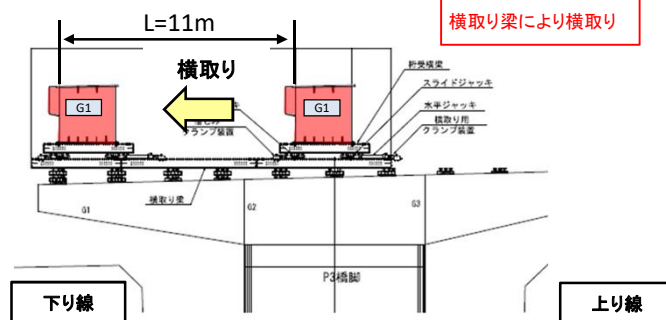


工事ステップ図

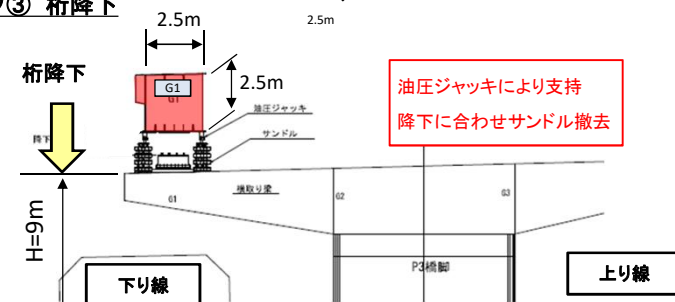
ステップ① P3～P4間の橋桁を縦押し



ステップ② 横取り



ステップ③ 桁降下



事故概要

別紙3

